

# 令和2年度 柳町地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

## — 総括表 —

### ◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

柳町地域ケアプラザの担当圏域では高齢化率の上昇が進んでいる。地域内での支えあいの仕組みづくりに必要な人材発掘・多世代の交流ができる取組を工夫している。  
介護予防等の取組、様々な情報の発信等をするにあたり、地理的な条件を含めて外に出ることが大変な地区もあることから、住民が気軽に outward 距離での開催ができるよう地域と協力をしながら進めていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	感謝祭だけでなく、地域の関係施設が周知できるよう広報紙等で情報提供を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5職種の情報交換を密にし、地域の中核となっている方からも、情報収集を行い、活かして行く。 地域の実情に応じながら、介護予防に取り組む。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	民生委員児童委員とケアマネジャー同士顔の見える関係性を構築できるよう交流会を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	行政・サービス事業所、民生委員児童委員など関係機関と顔の見える関係づくりを行い、情報交換する中で課題の早期発見・必要な支援につながるようにしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の団体、NPO法人や企業等の地域活動を把握できるように努め、把握できた活動を発信できるようにする。

### ◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が重要で中心的な動きとなったことで、当初計画していた事業等についての予定通りの実施は難しい年であった。しかし、コロナ禍だからこそ発信できることや方法を職員が協力して検討・対応を進めてきた。地域の方がコロナ禍での生活で抱え込んでいる困りごとがないか等、町内会長や民生委員と情報を共有しながら進めることもできた。又、生活困窮者ネットワーク構築支援事業については、コロナ禍だからこそ出来る内容をチームで検討・具体化し進めていくことができた(近隣の大学、学生も巻き込み実施)。

区からのコメント

コロナ禍で思うような事業展開ができない1年だったと思います。感謝祭を始めとする地域の行事も軒並み中止となる中、感染症拡大に十分留意し、対策をとりながら事業などに取り組んでいただきました。  
ケアプラザの近隣で活動している地域の方々にコロナ禍での生活、オンラインの利用状況など普段はなかなか聞くことのできないアンケート調査を行いまとめたことはとても有意義なことだと思います。生活困窮者ネットワーク構築支援事業は区との連携を超え、学生も巻き込んだ取組実施になりました。今後、事業の効果や課題について区や他ケアプラザとも共有していただくようお願いします。  
個別支援や事業所支援についても、電話等を活用しながら継続していただき住民の方や支援者の不安に寄り添っていただいています。今後も「孤立させない地域づくり」に向けて引き続き取り組んでいただきますようお願い致します。